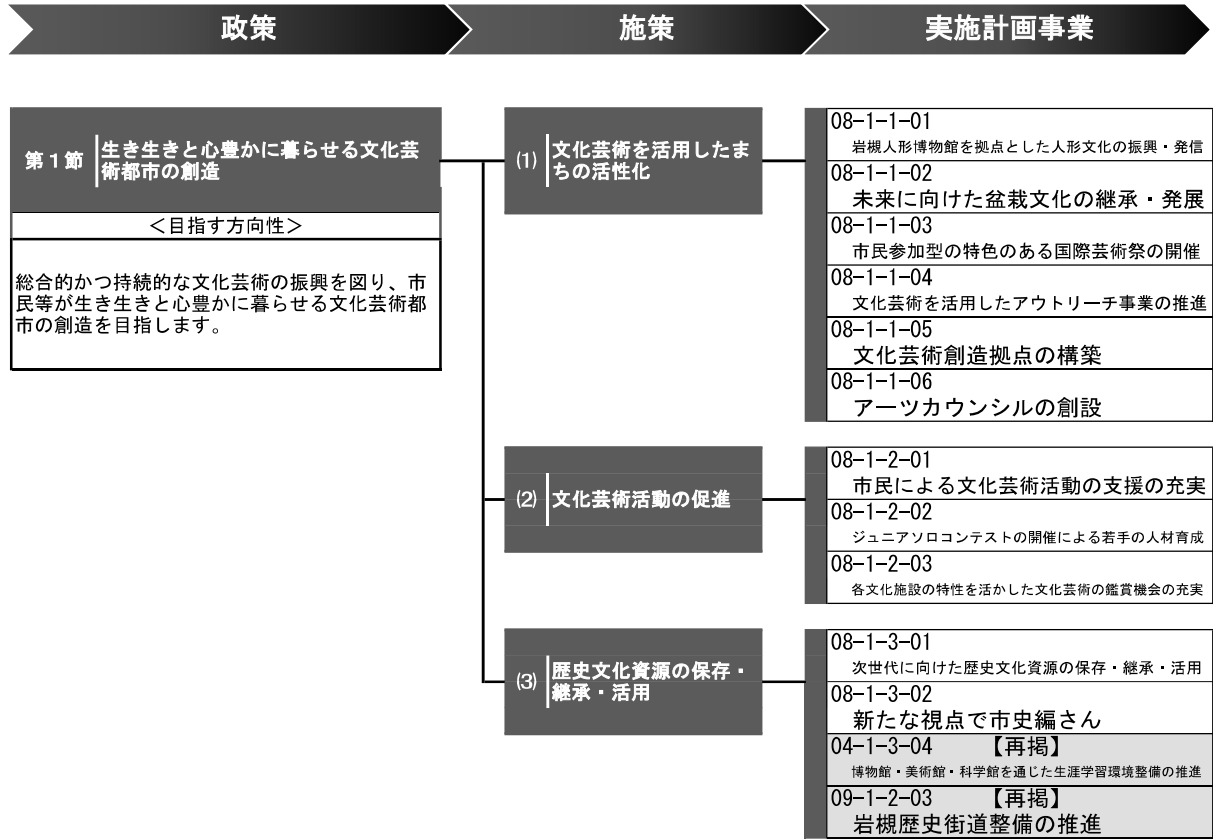


第8章 文化

政策と施策の体系



<b>事業</b>	08-1-1-01	<b>岩槻人形博物館を拠点とした人形文化の振興・発信</b>					
<b>重点戦略</b>		他施策への貢献（再掲先）					
<b>事業課</b>	岩槻人形博物館						
<b>事業目的</b>	人と人形の歴史を調査・研究し、その成果について広く公開することにより、本市の魅力ある資源である人形文化を振興します。						
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩槻人形博物館における展示や講座を開催します。</li> <li>・広報・プロモーションを実施します。</li> <li>・キャッシュレス化を推進します。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、新しい生活様式に対応した博物館の管理運営や事業実施に関する取組を実施します。</li> </ul>						
<b>目標指標</b>	<b>実績</b>	<b>各年度の目標</b>					<b>計画期間 最終目標</b>
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	岩槻人形博物館 来館者数	77,000人	74,000人	74,000人	74,000人	74,000人	令和7年度まで 74,000人を達成・ 維持
(2)							
(3)							

<b>事業</b>	08-1-1-02	<b>未来に向けた盆栽文化の継承・発展</b>						
<b>重点戦略</b>		他施策への貢献（再掲先）		11-2-1				
<b>事業課</b>	都市経営戦略部	大宮盆栽美術館	観光国際課	商業振興課				
<b>事業目的</b>	伝統産業としての盆栽業の支援、市の誇る文化としての盆栽ブランドの確立、盆栽村の聖地化を推進することにより、本市の魅力ある地域資源である盆栽文化を振興します。							
<b>事業内容</b>	<p>令和7年度に迎える盆栽村開村100周年を見据え、庁内関係部局や関連団体等と連携し、盆栽関連イベントやワークショップの開催、SNSなど様々な広報ツールを活用した情報発信など、盆栽文化の発展に資する取組を実施します。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、新しい生活様式に対応した美術館の管理運営や事業実施に関する取組を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盆栽村開村100周年記念事業の実施に向けた検討を行います。</li> <li>・大宮盆栽美術館における展示や講座を開催します。</li> <li>・各種盆栽関連イベントやワークショップを開催します。</li> <li>・さいたま国際盆栽アカデミーを実施します。</li> <li>・ICTを活用した情報発信をします。</li> <li>・キャッシュレス化を推進します。</li> <li>・盆栽園等と連携し、盆栽園継続の課題を調査し、盆栽業の支援に取り組みます。</li> </ul>							
<b>目標指標</b>	<b>実績</b>	<b>各年度の目標</b>					<b>計画期間 最終目標</b>	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
(1)	大宮盆栽村の認知度（①市内在住者、②在勤者）	①77.1% ②50.8% （令和元年度）	①78% ②51%	①79% ②52%	①80% ②53%	①81% ②54%	令和7年度までに ①82%、②55%	
(2)	大宮盆栽美術館 来館者数	63,208人 （令和元年度）	74,000人	72,000人	73,000人	74,000人	75,000人	令和7年度までに 75,000人
(3)								

<b>事業</b>	08-1-1-03	<b>市民参加型の特色のある国際芸術祭の開催</b>					
<b>重点戦略</b>	戦略2 戦術5	他施策への貢献（再掲先）					
<b>事業課</b>	国際芸術祭開催準備室						
<b>事業目的</b>	市民等が文化芸術に触れる機会を増やすとともに、本市の文化芸術を広く発信することにより、市民が自主的・主体的に行う文化芸術活動の促進と、本市のイメージアップを目指します。						
<b>事業内容</b>	<p>これまでの国際芸術祭で生まれた市民の文化芸術活動をレガシーとして継続し、充実させていくとともに、本市の魅力ある文化資源を活用し、さいたま文化を発信するほか、文化芸術を活用した多様な交流を促進するため、市民参加型の特色のある国際芸術祭を開催し、市民等が文化芸術に触れる機会を創出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民サポーターの活動を支援し、市民プロジェクトを継続します。</li> <li>令和5年度の国際芸術祭開催に向けた検討を行います。</li> </ul>						
<b>目標指標</b>	<b>実績</b>	<b>各年度の目標</b>					<b>計画期間 最終目標</b>
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	市民サポーター活動、市民プロジェクト、国際芸術祭の参加者数	20,000人	22,500人	325,000人	27,500人	30,000人	令和7年度までの5年間で425,000人
(2)	国際芸術祭の経済効果	—	—	30億円	—	—	令和5年度に30億円
(3)							

<b>事業</b>	08-1-1-04	<b>文化芸術を活用したアウトリーチ事業の推進</b>					
<b>重点戦略</b>		他施策への貢献（再掲先）					
<b>事業課</b>	文化振興課						
<b>事業目的</b>	地域コミュニティの活性化を図るため、芸術家等が地域に赴いて文化芸術に関するアウトリーチ事業を実施することにより、市民と芸術家等との交流や、幅広い分野における連携を促進し、市民が気軽に文化芸術と触れ合える環境を実現します。						
<b>事業内容</b>	市内の学校や施設、団体等、地域の様々な場所に芸術家等を派遣して、盆栽、漫画、人形等の本市の魅力ある資源を活用したワークショップや、ミニコンサート等を実施します。						
<b>目標指標</b>	<b>実績</b>	<b>各年度の目標</b>					<b>計画期間 最終目標</b>
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	アウトリーチによる文化芸術イベント等の実施件数	30件	30件	30件	30件	30件	令和7年度までの5年間で150件
(2)							
(3)							

事業		08-1-1-05		文化芸術創造拠点の構築				
重点戦略				他施策への貢献（再掲先）				
事業課		文化振興課						
事業目的		市民等の多様化する文化芸術活動を支えることができるよう、文化施設機能の充実を目指します。						
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>市民等の多様化する文化芸術活動を支える中心的役割を担う拠点施設に機能移転後の市民会館うらわ及び市民会館おみやをに加え、拠点機能を強化するとともに、拠点施設間及び他の文化施設との有機的連携を構築し、文化芸術活動環境の充実を図ります。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、キャッシュレス支払いの導入を検討する等、新しい生活様式に対応した施設管理を行います。</li> <li>美術館等文化芸術創造拠点に関する他の事例等を調査しつつ、基本構想の策定に向けた検討を行います。</li> </ul>						
目標指標		実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	文化施設利用者の満足度	65.5% (令和元年度)	67%	68%	69%	70%	71%	令和7年度までに71%
(2)	美術館等文化芸術創造拠点の整備	—	拠点機能の整理	美術館等文化芸術創造拠点の整備・拡充に向けた調査・検討	美術館等文化芸術創造拠点の整備・拡充に向けた調査・検討	美術館等文化芸術創造拠点の整備・拡充に向けた調査・検討	美術館等文化芸術創造拠点の整備・拡充に向けた調査・検討	令和7年度までに整備に向けた検討に着手
(3)								

事業		08-1-1-06		アーツカウンシルの創設				
重点戦略				他施策への貢献（再掲先）				
事業課		文化振興課						
事業目的		文化芸術都市創造のため、令和4年度中に、専門人材による調査研究、芸術活動支援及び文化発信プロジェクトなどの象徴的事業を実施する組織であるアーツカウンシルを設立し、文化芸術推進体制の強化を図ります。						
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度から文化芸術団体等への助成金（文化芸術都市創造補助金を統合）の交付及び事業評価、活動場所の斡旋、団体間連携コーディネート、運営相談、情報発信を行います。</li> <li>文化芸術に関する調査研究や関係団体とのネットワーク構築によって得た知見に基づき、市及び文化芸術団体等への提言等を行います。</li> <li>文化芸術都市創造に向けて、先駆的な事業の実施主体となります。</li> </ul>						
目標指標		実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	アーツカウンシルの設立	—	基本構想策定	設立	—	—	—	令和4年度中に設立
(2)	支援団体数（助成、活動場所斡旋、団体間連携コーディネートなど）	—	—	10団体	80団体※国際芸術祭開催のため拡大	70団体	70団体	令和7年度までの5年間で延べ230団体
(3)								

<b>事業</b>		08-1-2-01	<b>市民による文化芸術活動の支援の充実</b>				
<b>重点戦略</b>			他施策への貢献（再掲先）				
<b>事業課</b>		文化振興課					
<b>事業目的</b>		市民等が自主的・主体的に行う文化芸術活動を支援することにより、生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市の創造を目指します。					
<b>事業内容</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の文化芸術団体に対する補助金交付や、さいたま市美術展覧会の開催を始めとした文化芸術活動の発表機会の提供等、市民等の文化芸術活動を支援するための事業を実施します。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、SNSを活用した文化芸術活動への支援等、新しい生活様式に対応した活動に対する支援を検討します。</li> </ul>					
目標指標	実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	補助金を活用して市民等が実施した文化芸術事業の件数 66件 (令和元年度)	70件	70件	70件	70件	70件	令和7年度までの5年間で350件
(2)	さいたま市美術展覧会の出品者数 557人 (令和元年度)	対前年度比 1%増	対前年度比 1%増	対前年度比 1%増	対前年度比 1%増	対前年度比 1%増	令和7年度までの5年間で出品者数を令和元年度比で5%以上増やし、減少傾向を抑制
(3)							

<b>事業</b>		08-1-2-02	<b>ジュニアソロコンテストの開催による若手の人材育成</b>				
<b>重点戦略</b>			他施策への貢献（再掲先）				
<b>事業課</b>		文化振興課					
<b>事業目的</b>		子どもたちの文化芸術の創造や活動に対する意欲を高めるとともに、次代の文化芸術都市創造を担う人材の育成を目指します。					
<b>事業内容</b>		市内在住・在学の小・中学生を対象に、管楽器・打楽器・コントラバスによる独奏のコンテストを行います。					
目標指標	実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	出場者が、コンテストを通じて自身が成長することができたと感じる割合 —	53%	54%	55%	56%	57%	令和7年度までに57%
(2)							
(3)							

<b>事業</b>	08-1-2-03	<b>各文化施設の特性を活かした文化芸術の鑑賞機会の充実</b>					
<b>重点戦略</b>		他施策への貢献（再掲先）					
<b>事業課</b>	文化振興課						
<b>事業目的</b>	市民等の多様化する文化芸術活動に対応するため、各施設の特性を生かした多様な鑑賞事業を実施することにより、ニーズに応えた鑑賞機会の充実を目指します。						
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者のノウハウを活用し、各文化施設の立地条件やホール規模、施設の特性を踏まえ、市有施設最大のホールを持つ文化センターでの本格的な音楽鑑賞事業、能舞台を有する氷川の杜文化館での伝統文化鑑賞事業など、多様な「文化芸術鑑賞事業」を実施します。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、動画配信による鑑賞事業など、新しい生活様式に対応した事業を実施します。</li> </ul>						
<b>目標指標</b>	<b>実績</b>	<b>各年度の目標</b>					<b>計画期間最終目標</b>
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 参加者が事業内容に満足した割合	91.9% (令和元年度)	90%	90%	90%	90%	90%	令和7年度までの5年間90%を維持
(2)							
(3)							

<b>事業</b>	08-1-3-01	<b>次世代に向けた歴史文化資源の保存・継承・活用</b>					
<b>重点戦略</b>		他施策への貢献（再掲先）					
<b>事業課</b>	文化財保護課						
<b>事業目的</b>	文化財等の歴史文化資源を活用しながら、次の世代に向けて大切に保存・継承します。						
<b>事業内容</b>	<p>先人たちが伝えてくれた「市の宝」である歴史文化資源の保存と活用を通じて、郷土への関心、愛着をはぐくみ、次の世代へと確実に継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定史跡「見沼通船堀」の再整備を実施して保存を確実にするとともに、開門開閉実演を開催して「見沼通船堀」の活用を進めます。</li> <li>・国指定史跡「真福寺貝塚」の発掘調査を実施してその実像を解き明かします。その成果を今後の保存・活用に生かしながら、現地見学会や小学生の体験発掘調査、展示会などを行い、「真福寺貝塚」の価値を発信していきます。</li> <li>・国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」衰退の危機を克服するために、遺伝的多様性の調査などの自然科学分析調査を行い、サクラソウ減少の原因を究明します。その上で、自生地再生に向けた「田島ヶ原サクラソウ自生地再生計画（仮称）」を策定し（令和6年度まで）、計画に基づき自生地の再生に取り組みます。</li> <li>・いかなる状況でも歴史文化資源の保存・継承・活用を持続できるよう、新たに「文化財保存活用地域計画」を策定します（令和5年度まで）。保存・継承・活用のサイクルを確立し、市民が歴史文化資源の価値を将来にわたって享受できるよう、保存・継承・活用を推進します。</li> </ul>						
<b>目標指標</b>	<b>実績</b>	<b>各年度の目標</b>					<b>計画期間最終目標</b>
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 見沼通船堀を知っている市民の割合	47.1% (令和2年度)	50%	52%	54%	57%	60%	令和7年度までに60%
(2) 真福寺貝塚を知っている市民の割合	6.4% (令和2年度)	10%	14%	18%	22%	26%	令和7年度までに26%
(3) 田島ヶ原サクラソウ自生地を知っている市民の割合	38.7% (令和2年度)	42%	44%	46%	48%	50%	令和7年度までに50%
(4) さいたま市歴史文化資源12件のうち、市民一人当たりの認知数	4.7件 (令和2年度)	4.8件	4.9件	5.0件	5.1件	5.2件	令和7年度までに5.2件

<b>事業</b>		08-1-3-02	<b>新たな視点で市史編さん</b>					
<b>重点戦略</b>			他施策への貢献（再掲先）					
<b>事業課</b>		アーカイブズセンター						
<b>事業目的</b>		本市の歴史の変遷の過程を記録し未来へ継承するため、「さいたま市史」を編さんすることで、市民等の本市への関心と愛着を育み、市民文化の向上に寄与し市政発展の方向を示すとともに、歴史資料の収集保存を行い、市民共有の知的資源として活用を図ります。						
<b>事業内容</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>さいたま市をひとつの地域として捉える新たな視点で「さいたま市史」を編さんします。</li> <li>歴史資料を収集・保存・活用します。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度の目標					計画期間 最終目標	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
(1)	市史等の頒布冊数	771冊 (令和元年度)	840冊	880冊	920冊	960冊	1,000冊	令和7年度までの5年間で4,600冊
(2)	市民等の歴史資料の活用点数	299点 (令和元年度)	400点	410点	430点	460点	500点	令和7年度までの5年間で2,200点
(3)								

<b>事業</b>		04-1-3-04	<b>博物館・美術館・科学館を通じた生涯学習環境整備の推進</b>					
<b>重点戦略</b>			他施策への貢献（再掲先）		08-1-3			
<b>事業課</b>		青少年宇宙科学館	博物館		うらわ美術館			
<b>事業目的</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館において、さいたま市の歴史文化資源を紹介し、郷土に関する知識を醸成します。</li> <li>美術館において、魅力ある美術作品を身近に鑑賞できる環境を整えます。</li> <li>科学館において、「宇宙時代をたくましく生き、未来を創造する人」を育成します。</li> </ul>						
<b>事業内容</b>		<p>人生100年時代を輝き続けるために、市民が高度で質の高い生涯学習に取り組めるよう、各生涯学習関連施設では特色ある学習環境を整備するとともに、利活用を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の知的好奇心を喚起する、専門的で魅力あふれる展覧会や講座等の実施により、多世代を対象とした多種多様な学びの機会を提供します。</li> <li>市立小・中・高等学校等との連携により、児童生徒が歴史、伝統、文化、科学、美術等に直接触れることのできる体験的な学びの機会を提供します。</li> <li>コロナ禍においても市民の学びを止めないよう、各施設による学習資源を生かした動画コンテンツの配信等による、学習機会の提供を行います。</li> </ul>						
目標指標	実績	各年度の目標					計画期間 最終目標	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
(1)	博物館ホームページの閲覧件数	128,766件 (令和元年度)	131,300件	132,300件	133,300件	134,300件	135,300件	令和7年度までに135,300件
(2)	市民の多種多様なニーズに応え、美術館に来館するきっかけにつながるイベント企画の件数	2件 (令和2年度)	3件	4件	5件	6件	7件	令和7年度までに7件
(3)	『宇宙のまち さいたま』教育プロジェクトに連携・協働する企業、大学、NPO等、団体の延べ数	39団体 (令和元年度)	41団体	42団体	43団体	44団体	45団体	令和7年度までに45団体

<b>事業</b>		09-1-2-03	<b>岩槻歴史街道整備の推進</b>				
<b>重点戦略</b>			他施策への貢献（再掲先）	08-1-3			
<b>事業課</b>		岩槻まちづくり事務所					
<b>事業目的</b>		岩槻駅周辺において、まちの成り立ちなどに意義のある既存道路の歴史的価値を見出すとともに、沿道の歴史的・文化的資源を活用し、まちの魅力の向上とにぎわいの創出を目指します。					
<b>事業内容</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・先導的取組路線として位置付けた裏小路において、岩槻藩遷喬館や時の鐘などの地域資源を生かし、歴史街道にふさわしいまちなみ景観を誘導するなど、“まちなみづくり”と“みちづくり”を住民等と市の協働で推進します。</li> <li>・次期整備路線の検討と地元組織化を進めます。</li> </ul>					
目標指標	実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 裏小路のみちづくり	みちづくり整備方針の作成（令和2年度）	道路美装化に向けた協議・調整	道路美装化工事着手	道路美装化工事実施	道路美装化工事竣工	—	令和6年度までに道路美装化工事竣工
(2) 次の整備路線の地元組織化検討	—	候補選定方針・方向性の検討	候補路線の地元調整	候補路線の地元意向確認 路線選定	地元組織化準備	地元組織化	令和7年度までに次の整備路線の地元組織化
(3)							